

事業名 ライフログデータを活用した総合的な高齢者支援

実施主体 ソフトバンク株式会社

協力団体 大府市、刈谷市、国立長寿医療研究センター

事業の全体像

ライフログデータを活用した「フレイル」の予防・改善支援

- ①ウェアラブルデバイスを活用し、ライフログデータを取得
- ②異常時のアラート、フレイルリスク特定、AIを活用した最適行動の提案等を実施
- ③参加者自身のデータを企業や研究機関などに提供し報酬を還元するエコシステムを構築

<提供予定のサービスイメージ>

ライフログデータの取得・可視化



データ取得

ウェアラブルデバイスからデータを取得

<取得データ例>

- ・バイタル（脈拍数、血圧など）
- ・メンタル（感情、ストレスなど）
- ・睡眠情報 etc.



データ可視化・評価

取得したデータをわかりやすく可視化し、スコア評価を行う

フレイル予防・改善



アラート

血圧、睡眠などが閾値を超えるとアラートを発信

見守り



取得情報を指定先（家族など）へシェアし、異常時には指定先へもアラートを発信



AIコーチング

継続的なデータからフレイルにつながる要因を特定し、行動変容を促す最適化提案

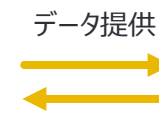
フレイル予防・改善の継続性維持

データ販売収益による持続性の確保

取得したデータを加工して、第三者（企業、研究機関など）に対し有償で販売。ユーザーに収益を還元し、継続的なモチベーション維持に繋げる。



ユーザー



企業、
研究機関など

事業名 ライフログデータを活用した総合的な高齢者支援

実施主体 ソフトバンク株式会社

協力団体 大府市、刈谷市、国立長寿医療研究センター

2024年度の実証内容

フレイルの早期発見・早期介入を実現するため、以下について検証を行う

- ①ウェアラブルデバイスを活用したフレイル判定の仮説検証
- ②意識・行動変容の効果測定
- ③高齢者が使いやすいUI/UX

<提供予定のサービスイメージ>

ライフログデータの取得・可視化



データ取得

ウェアラブルデバイスから多様なデータを取得

- ・バイタル（脈拍数、血圧など）
- ・メンタル（感情、ストレスなど）
- ・睡眠情報 etc.



データ可視化・評価

取得したデータをわかりやすく可視化し、スコア評価を行う

フレイル予防・改善



アラート

血圧、睡眠などが閾値を超えるとアラートを発信

見守り

取得情報を指定先（家族など）へシェアし、異常時には指定先へもアラートを発信



2024年度の実証範囲

<実証詳細>

- ★対象者：60歳以上の方
- ★人数：各自治体30人ずつ
- ★期間：1か月間

★概要：スマートフォンとリストバンドをご参加者様に貸し出し、1か月間ご自身のデータを測定、閲覧を行っていただきます。

※希望者にはご家族へのデータ共有機能も提供しています。